

あなたと日本共産党をつなぐ かけはし



ワイ・ムード(青年の気持ち)



民青同盟埼玉県委員会が日本共産党の志位和夫委員長に要請書を託しました

## 特集 “声をあげれば変わる” 青年学生の運動

日本共産党東部北地区委員会 青年後援会  
〒346-0012 久喜市栗原 333-1 ☎0480-22-9296

共産党 東部北 検索  
<http://jcptoubukita.blog.shinobi.jp/>



No.17

## 感染抑止と経済・社会活動を一体に 日本共産党

### 1、「第2波」に備え、医療と検査体制を抜本的に強化する

- (1)積極的な検査戦略に転換し、経済・社会活動再開のもとでの感染拡大を抑止する一感染者を早期に発見し、症状に応じた医療と隔離を行う。
- (2)医療崩壊を起こさない……医療、介護福祉施設への財政支援を抜本的に強化する。
- (3)削減されてきた保健所、地方衛生研、国立感染研の体制強化に踏み出す。

### 2、自粛要請と一体の補償を急いで現場に

- (1)雇用調整助成金は事後チェックに、持続化給付金の支給おくれの改善、家賃支援など、必要な支援を迅速かつ確実に届け。
- (2)第二次補正予算でも、対象からはずされたり対象が狭く、必要な支援が届かない分野—子どもと教育、学生、保育、学童、生活困窮者などへの支援のため、必要な予算を確保する。
- (3)消費税を5%に減税する。緊急に免税事業者を拡大する。

### 3、財源 当面は国債で手当し 償還財源は応能負担原則で

国民の声が政治を動かしている  
コロナ危機打開へ力をあわせよう

衆院比例予定候補 梅村さえこ



### 学校再開へ「緊急提言」

- ①小中高教員を10万人増やす
- ②学校現場の創意工夫を尊重

新型コロナによる長期休校を経て、学校が再開しました。子どもの学びの遅れと格差の拡大、かつてない不安とストレスをかかえている子どもたちにどう向きあうのか。コロナ対策をどうするのか。日本共産党は「学校再開にあたっての緊急提言」を発表しました。



子どもたちの学び、心身のケア、安全を保障する

宮代町の説明によると設置されたのは1926年で、大正時代に鉄筋コンクリートで作られた滑り台の現存例は希少と評価されたそうです。百間小は1873年創立。滑り台が設置された詳しい経緯は不明ですが、支柱の銘板に「大正拾五年11月28日」「寄附者 野口丈左 門」と記されています。野口氏は地元で建築業を営んでいたようです。



すべり台

### 我がまち紹介⑦ 宮代町

私の2人の子どもたちが通っていた宮代町の百間(もんま)小学校の滑り台が、昨年、国の登録有形文化財になりました。



百間小学校正門

滑走面はコンクリートに玉石などを混ぜて磨き、なめらかにしています。

小学校には運動会などで何度も訪れていましたが、このニュースが報道されるまで、そんなすべり台が校庭にあるとは思ってもみませんでした。通りがけに、小学校の校庭をのぞいてみると、確かにすべり台があります。コンクリート造りの古くて丈夫そうなすべり台で、今でも子どもたちが遊具として使っていました。

100年近く、子どもたちの成長を見守り続けていた貴重な歴史の遺産です。

(写真は宮代町ホームページから)  
宮代町在住 赤岸雅治



# コロナ禍のもと “窮状救って!”と、立ち上がった青年・学生

# 「一律学費半額」を求めてさらに ～オンライン署名200を超える大学に広がる～

## ◆学生生活の厳しさが次々と!

～民青同盟のアンケートから～

- ・バイトがなくなって家賃も払えず、暮らしていけない。
- ・コロナで内定が取り消された。
- ・「オンライン授業」だがパソコンがない。
- ・親の仕事もなくなって、授業料が払えない。大学をやめることも考えている。

※学生団体FREEのアンケート調査では、5人に1人が退学を考えていることがわかりました。

## ◆学生の切実な声が政治動かす

学生2団体や野党は国会内で集会を行い、学生の切実な声を聞き取り、国会質疑等で取り上げました。しかし第1次補正予算での学生支援はたったの7億円（対象学生2300人）。これでは少なすぎるとさらに政府に要望。第1次補正の予備費で530億円（対象43万人）の支援が実現しました。

## ◆野党は学生支援の法案提出

野党は「全学生の授業料の半額免除」と、「アルバイト収入が減収した学生に最大20万円の補助」を柱とした支援法案を共同で提出しました。

20万円の支援は実りましたが、第2次補正でも学費減免の要望は実らず、引き続きの課題となっています。



学生と懇談する伊藤岳参議院議員

## ◆声を上げれば政治は変わる

今、政府や自治体による支援が広がる中で、大学が独自に1人ひとりの学生に“就学支援金”などの現金支給の支援を行うところが増えていきます。

また、学費・授業料の納入について、延納・分納制度を拡充したり、大学独自の給付型あるいは貸与型奨学金の拡充なども実施されています。

県内の大学でも、  
＜日本工業大学＞（宮代町）

学生全員に緊急奨学金5万円を給付。4月30日までだった春学期の授業料納入期日を8月10日まで延長。

＜獨協大学＞（草加市）  
すべての学部生・大学院生に、遠隔授業支援特別奨学金として10万円を給付。

＜埼玉大学＞（さいたま市）  
「修学サポート基金」を創設して給付型の奨学金制度を開始。自宅学生3万円、自宅外学生5万円を支給。  
等々支援が始まっています。

## ◆民青同盟がフードパントリー実施

青年・学生等の困窮を少しでも救おうと各地でフードパントリー（食材支援）の取り組みが行われています。東部北地域の民青同盟湯けむり班と応援団では、下記の日程でフードパントリーを実施します。合わせて、コロナアンケートやシール投票などに取り組みます。ぜひご協力ください。

- 7月7日（火）午後4時30分～
- 食材カンパ（コメ・乾物など、生ものは不可）。食材買い出しのための募金にご協力ください。

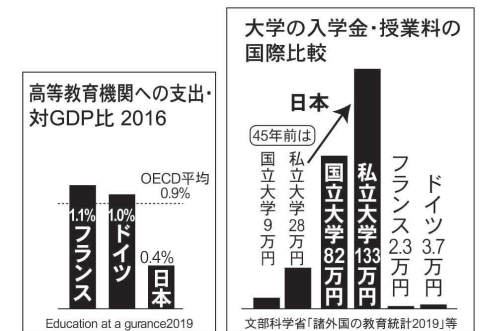
『一律学費半額を求めるアクション』と『高等教育無償化プロジェクトFREE』の学生2団体は第2次補正予算に学費半額と、すべての学生に届く支援を求めて署名運動を進めてきましたが、オンライン署名は全国の200を超える大学にひろがりました。

野党の反対にも拘わらず、通常国会は閉会しましたが、日本共産党は、第3次補正予算を組み、学費半額に踏み出すべきと要求しました。

## ◆そもそも高い日本の学費

日本は、高等教育の漸進的無償化をうたった『国際人権A規約』を批准していますが、ようやく今年度から始まった無償化措置も、無償となっているのは非課税世帯などごくごくわずかの学生です。

ヨーロッパ並みに学費を無償化してこそ、安心して学ぶ環境ができます。今回のコロナ禍で“せめて学費を半額に”という運動をさらに盛り上げ、実現させていきましょう。



- ・フランスの2.3万円は社会保険料
- ・ドイツの3.7万円は社会保険料と通学パス

第3回 春日部青年の集い

## ジェンダーや性のことを もっと知ろう

とき 7月12日（日）午後2時～4時  
ところ 春日部市民文化会館 中会議室(2)

主催 日本共産党春日部市委員会  
春日部市中央 7-10-9 Tel 048-736-9933  
問い合わせ 090-2172-2181 (市議会議員 うづき武彦)  
peace-uduki@kp.biglobe.ne.jp

講師 近藤 里沙さん（弁護士）

近藤さんの豊富な相談活動や法廷での弁論活動などから見えてくる“ジェンダーとは？”“ジェンダー指数が低い日本、その要因は？”“私たちはどう生きる？”・・・  
お話を聞いて、意見を出し合い、交流しましょう。

近藤里沙さんプロフィール  
早稲田大学法学部卒、同大学法務研究科修了、埼玉中央法律事務所所属、「明日の自由を守る若手弁護士会」所属。離婚やDV問題にも取り組んでいます。